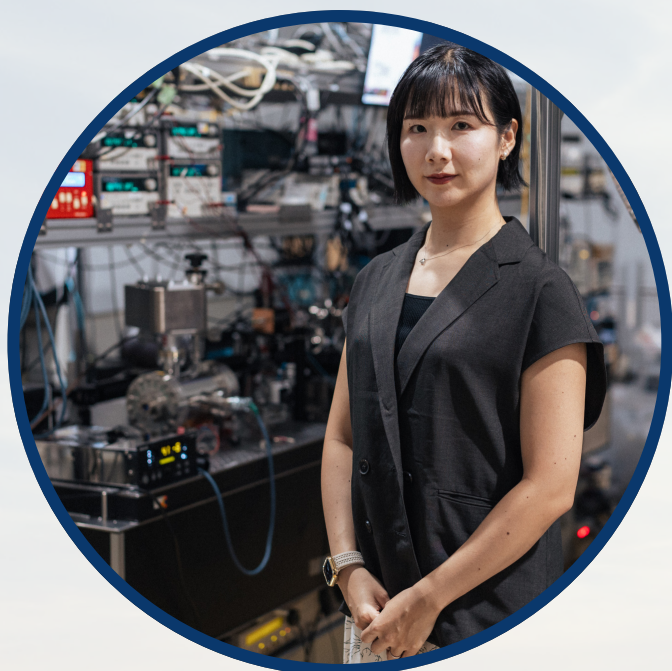


「総合2026」第12回講演 9月24日（木）13:00~14:30
@津田塾大学 小平キャンパス 特別教室

知の限界を超え、未来の社会基盤を創る！

-ICTの研究を両輪で進める研究職と総合職のリアル-

NICTシリーズ講演①



Our Guest



木原 亜美

NICT2021年入構。研究職。
一児の母として子育てをしながら、
情報通信や金融など社会インフラ 産
業を支える「1秒の基準」をより正確
にするため、次世代光時計の研究開
発に取り組んでいる。

青柳 春花

NICT2025年新卒入構。総合職。
津田塾大学 国際関係学科および「総合」
スタッフOG。
国際関係の業務に携わる傍ら、NICTの
ブランディング施策の一環としてNICTと
多摩地域の連携企画に取り組んでいる。

NICT（情報通信研究機構）について

NICTは、ICT分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関です。NICTでは多様な人材の活躍を推進するとともに、多摩地域をはじめ、各地の大学や教育機関との連携を通じて、将来の研究を担う次世代の理工系人材の育成に取り組んでいます。本講演は、同じ多摩地域に所在する津田塾大学とNICTの連携の一環として企画したものです。

スタッフより

木原さんは、子育て真っ只中の女性研究者です。「1秒」の基準というと、地球の自転をもとに1日24時間を分割して決めていると考える方が多いと思います。確かにかつてはそうでしたが、地球の自転速度は一定ではないことがわかり、1967年に1秒の定義が量子力学を利用したものに改定されました。今回の講演では「1秒」という基準を定めるためにどのような研究をされているのかという根本的な疑問やその「1秒」の大切さ、この疑問を研究する中で求めている答えや結果をなかなか導き出せないことに対するもどかしさについて、総合スタッフOGであり、NICTで総合職として勤務されている青柳さんとの対談形式でお聞きしたいと思います。

また、なぜ物理学の道に進んだのか、女性の割合の少ない理系分野に進学することに迷いや不安はあったのかをお伺いします。理系の分野で活躍している女性のリアルなお話が、物理学や研究についてのイメージを広げ、理系の分野に関心を持つきっかけになるでしょう。受講生は、地道な努力の積み重ねが自身や社会に及ぼす影響について知り、行動を起こす勇気を持ってほしいです。

活動家宣言 <We act !>

～ギャップから始まる、私たちのアクション～